

翔生 (しょうせい)

Symbol Logoemark: これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、コシッパ様でデザインし、シンプルで馴染み深いロゴマークとさせていただきます。白ゴは、商工会議所青年部の英略名(Youngs)



発行 全国商工会議所青年部連合会
東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
☎03-3283-7847

編集 広報委員会

平成8年
(1994年)
11月1日号
通巻 第17号
(第2期 3月-11月発行)

Entrepreneurs Group)の漢字をまとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト(創意、機軸、広い視野をもった経営者= Youth, Energy, Generalist)を表現しています。

第14回 商工会議所青年部全国大会 (長崎大会)

人が接点、地域が原点、ふれあい長崎見聞学。

大会会長 松田祥吾

第14回 商工会議所青年部全国大会 (長崎大会) スケジュール

11/24 Thursday

- YEG親睦ゴルフコンペ
9:30~18:00 大村湾カントリー倶楽部
- 両岸連協大役員会-新泊遊藝会
19:00~21:00 ホテルニュー長崎
- ゴルフ表彰式
19:00~21:00 ホテルニュー長崎

11/25 Friday

- 両岸連協会議
9:30~12:30 ホテルニュー長崎
- 登録受付
12:00~18:00 長崎県立総合体育館
- ビジネス交流プラザ
12:00~20:00 長崎県立総合体育館
- 企業見学
13:00~18:00 三菱重工業株式会社工場
- 0日サロン
15:00~18:00 長崎県立総合体育館
- 会議総会
15:00~18:20 長崎県立総合体育館
- 記念講演
16:30~18:10 長崎県立総合体育館
講師: ハウスアンバサダー
代表取締役社長
神谷義典氏
副題: ハウスアンバサダーの
アジア戦略
- 懇親会
18:30~19:45 長崎県立総合体育館

11/26 Saturday

- 登録受付
9:00~9:30 長崎県立総合体育館
- 記念式典
9:00~11:30 長崎県立総合体育館
1. 開会宣言
2. 「君が代」斉唱
3. 「商工会議所青年部の夢」斉唱
4. 商工会議所青年部「経営」劇場 知事、県知事
5. 全国商工会議所青年部連合会会長挨拶
6. 日本商工会議所会長挨拶
7. 長崎県商工会議所青年部連合会会長挨拶
8. 長崎県商工会議所連合会会長挨拶
9. 主催者紹介
10. 来賓挨拶
11. 来賓紹介
12. 祝電披露
13. 講話
14. 日本商工会議所
会訓 稲垣新一郎
15. 参加青年部紹介
16. 次年度全国商工会議所青年部連合会会長挨拶
17. 次年度全国大会開催地発表
17. 閉会宣言
● エクスカーション



ごあいさつ

全国商工会議所青年部連合会
会長 佐藤 晋 三 郎

7月、伊万里から始まり、安芸、小山、伊勢、亀田、根室、田辺、柳井、山形と全国を九つにわけて行われたブロック大会は、運営研究会からブロック大会と名称を変更し、YEGとしてのビジョンや道前景運、ブロックのあり方を語り、交流と連携を深め、意義ある大会としていただきました。主催していただいた各地YEGの皆様へ御礼とお借りし感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、このブロック大会の集大成ともなる全国大会は今後のYEG活動の基盤となる重要な大会であります。

「明日への創造 地域に挑むYEG」のスローガンを掲げて、創造性、独創性を持って地域に挑んでいこうと活動してきました本年度、本大会に多くの方々にご参加いただき、語り合い、刺激し合い、より強固なネットワークを築き、さらにそれを経済団体としてビジネスネットワークへと発展させていくことではありませんか。

この大会が明日への創造の場となることを確信しております。全国のYEGの皆様、長崎でお会いできるのを楽しみにしております。



「明日への創造 地域に挑むYEG」の経営者スローガンのもと平成6年度第14回商工会議所青年部全国大会・長崎大会を長崎県商工会議所青年部連合会の主催により長崎市にて開催させていただきます。

日本列島の最西端に位置する長崎は古くから大陸文化との交流の場として重要な役割を演じて参りました。この大会をはじめ多くの人々がその出会いとしてこれからの発展を遂げて参ります。

「人が接点、地域が原点、ふれあい長崎見聞学」の副題を掲げ、YEGとしてのビジョンや道前景運、ブロックのあり方を語り、交流と連携を深め、意義ある大会としていただきました。主催していただいた各地YEGの皆様へ御礼とお借りし感謝申し上げます。ありがとうございました。



大会成功を誓い合う、松田祥吾大会会長と前田茂大会実行委員長

大会成功を誓い合う、松田祥吾大会会長と前田茂大会実行委員長

交流の足がかりを構築し、地域社会へ貢献する人として、いよいよ息をひそめたものではないかと感じています。

大会は11月24日(木)はYEG親睦ゴルフコンペ、25日(金)は両岸連協会議、26日(土)は登録受付、17日(日)は記念式典、18日(日)は懇親会、19日(日)はエクスカーションと開催いたします。

大会は11月24日(木)はYEG親睦ゴルフコンペ、25日(金)は両岸連協会議、26日(土)は登録受付、17日(日)は記念式典、18日(日)は懇親会、19日(日)はエクスカーションと開催いたします。

「明日への創造 地域に挑むYEG」の経営者スローガンのもと平成6年度第14回商工会議所青年部全国大会・長崎大会を長崎県商工会議所青年部連合会の主催により長崎市にて開催させていただきます。

日本列島の最西端に位置する長崎は古くから大陸文化との交流の場として重要な役割を演じて参りました。この大会をはじめ多くの人々がその出会いとしてこれからの発展を遂げて参ります。

「人が接点、地域が原点、ふれあい長崎見聞学」の副題を掲げ、YEGとしてのビジョンや道前景運、ブロックのあり方を語り、交流と連携を深め、意義ある大会としていただきました。主催していただいた各地YEGの皆様へ御礼とお借りし感謝申し上げます。ありがとうございました。

- 主催/全国商工会議所青年部連合会
日本商工会議所
- 主催/長崎県商工会議所青年部連合会
- 開催地青年部/長崎県商工会議所青年部
- 主幹/全国商工会議所青年部連合会
日本商工会議所
- 主催/長崎県商工会議所青年部連合会
- 開催地青年部/長崎県商工会議所青年部

北海道ブロック ● 根室大会

北方領土問題を討議



道庁主催の青年部連合会ブロック大会が根室市で開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、北方領土問題について、関係者から現状や今後の対応について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

東北ブロック ● 山形大会

分科会で全員が発言



山形県山形市で山形県青年部連合会主催の東北ブロック大会が開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、東北地域の現状や今後の対応について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

中国ブロック ● 柳井大会

青年市長、熱っぽく語る



10月7・8日の両日、第14回中国ブロック大会が新潟県新潟市で開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、中国地域の現状や今後の対応について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。



10月7・8日の両日、第14回中国ブロック大会が新潟県新潟市で開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、中国地域の現状や今後の対応について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

日本を縦断、YEGの熱き「連携軸」

全国でブロック大会を開催

7月に九州でスタートした全国商工会議所青年部連合会のブロック大会は、東北で幕を閉じました。この2カ月間各地で若き企業家集団が集い、明日の地域社会について話し合いました。「YEGこそが、真の地域の担い手に」と、そして誓い合いました。

北陸信越ブロック ● 龜田大会

白熱の討論、時間が不足するほど



第14回信越ブロック大会が新潟県亀田町で開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、北陸信越地域の現状や今後の対応について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

東海ブロック ● 伊勢大会

「伊勢アマネラス物語」に感動



9月8日東海ブロック大会が三重県伊勢市で開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、伊勢アマネラス物語について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

近畿ブロック ● 田辺大会

会場に響く「弁慶鬼若太鼓」



第14回近畿ブロック大会が和歌山県田辺市で開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、近畿地域の現状や今後の対応について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

四国ブロック ● 安芸大会

100%設置の記念大会



四国ブロック大会は4月25日から27日まで高松市安芸市で開催された。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、四国地域の現状や今後の対応について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

関東ブロック ● 小山大会

時代は今日ー小山から変わる



平成6年度第14回関東ブロック大会が群馬県小山市で開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、小山の現状や今後の対応について話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

九州ブロック ● 伊万里大会

「古伊万里ロマン」で大交流



第14回九州ブロック大会が佐賀県伊万里市で開かれた。大会には青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京都、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各都府県青年部代表が参加した。大会は午前9時から開かれ、まず開会式が行われ、各都府県青年部代表の挨拶が行われた。続いて、古伊万里ロマンについて話し合われた。また、日本各地の青年部代表による交流活動も行われた。大会は午後5時に閉会した。

「初心者マークを外した2年目」 滝川商工会議所青年部(北海道ブロック)

なんと早くも1年間、設立してほんの少しが経ちました。いろんな事業を沢山しました。外部から見るとまだまだなのかもしれませんが、とにかく時間が足りません。何かよりも仕事に頑張っているからか？でも根付いてます。確実に、絶対に根付いてます。

今、郷土への掲載にあたり設立後の1年少々を振り返りますが、まだまだ手探りですが、なにかを掴みかけています。この10月に初めて対外的にアピールするビッグな企画を紹介します。

いま各地でブームではあります。わが滝川にはまだ、地ビール、の音が上からささるは残念の思いが



「世界のビアフェスタ」を開催いたします。世界のいろいろなビールを通しての世界交流等、夢も膨らんでいます。いまプロジェクチームは超燃焼です。ある意味で真価を問われるかも知れません。ご期待願います。

わが町、滝川は北海道の「根川」「石狩川」と「空知川」の合流する地点です。ここにビール、水、酒のイメージがあります。川の流れるようにという歌もありますが、時に激しくぶつかり合う水のエネルギーを我々は感じています。まさに川にありです。このイメージをテーマにした華やかな祭りがあります。「しぶき祭り」といいます。今年で10回目の区切りです。今年もいっしょに盛り上げたいのでした。ここに紹介いたします。

今年も滝川を見守る大猛暑で、水を命に考えその清流のごときエネルギーで立ち向かいます。

「まちじゅしゅもじゅしゅ」 一関商工会議所青年部(東北ブロック)



当青年部は昭和57年7月に設立以来12年が経過し、79名の構成でなる青年部です。

平成6年度は企画運営委員会・経営研究委員会・会員強化委員会・夢21委員会等の4委員会を設置し、積極的な活動しております。

また、活性化事業の一つである市民参加の「おもしろ市」も今年で3回目を迎え、「懐かしシネマ上映」「まちじゅしゅおもしろマップ」の作成等、生産者・消費者・消費者との相互の協調・融和・思いやりを育む、楽しい生活の場を創造する事業として盛大に開催したいと思っております。さらには、会員家族交流の一環として地引き・芋の子会・クリスマス会等の事業も予定しております。本年は、会員組織をさらに拡大強化すべく、会員数100人をめざし会員募集活動を行ってまいります。

また、地域の発展を図るべく、講演会・講習会・移動研修等を積極的に実施し、次世代を担う人材育成に活動を展開しております。

「熱く燃えた夏ー豊田おいでんまつりー」 豊田商工会議所青年部(東海ブロック)

「おいでん、みりん、おどろい」のアイスクリーの曲に乗せて358の踊り連、2万5千人の市民が踊る「豊田おいでんまつり」の総踊りが7月29、30日に盛大に行われました。

我が青年部も、商工会議所が祭りの実行委員の一員でもあるので、地域に開かれた事業を全面的にバックアップしようと、毎年張り切って参加しています。今年も踊りコンテストの最優秀賞、「おいでん大賞」をめざし春から準備を開始。百日前には神社で必勝祈願踊り連参加登録では徹夜でエントリーナンバーを書き獲得、踊り連代表「選手宣誓権」を手に入れました。スタート位置の抽選会には好スタート位置を獲得し、結果は健闘賞、でも、みんなの心がひとつになった感動の夏の夜でした。



日本一のカヌーマラソン 新宮商工会議所青年部(近畿ブロック)



近畿一の大河熊野川を舞台に開催される熊野川カヌーマラソン大会。熊野の大自然を多くの人に感じてもらう、熊野の魅力を全国へPRしようという1989年にスタート。今回で6回目を迎え、京都府を中心に全国から437名の参加者があり、数百艇のカヌーが熊野川とのみことなコンコースを映し出しました。

この大会は、42キロと20キロのコースがあり、タイムを競う参加者、のんびりと川下りを楽しむカヌーリスト、それぞれ楽しみがい一日を過ごしています。この

熊野川青年会、熊野川町商工会、新宮青年会議所など多くの団体と熊野の自然とカヌーを愛する人達の協力によって支えられています。

日本一に成長した熊野川カヌーマラソン大会。熊野川の清流を守り、育んでいきたい。そんな気持ちをもつ多くの人が感じています。

特集 全国各地の青年部活動レポート

「明日への創造 地域に挑むYEG」

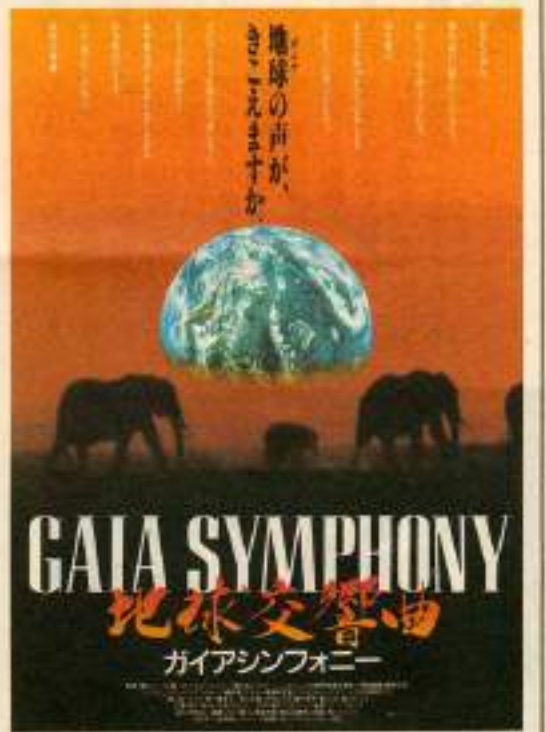
北から南から、地域で奮闘するYEGの声が届きました。友情、交流、研究…若き企業家集団のネットワークが、いま大きな広がりを見せています。変革の時代を乗り越え、21世紀に向かってYEGの挑戦は続きます。

10周年事業を終えて 諏訪商工会議所青年部(北陸信越ブロック)

映画「ガイアシンフォニー」をどうして観たのか、この

感動の映画を10周年事業の目玉として決め、徳川家康の六男・松平忠輝公の311日命日(7月3日)に開催することができました。

1926年宮沢賢治が「世界ぜんたいが幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と予見したように、地球全体が幸福を実感するために必要な一人一人



が利己心を捨てる事だを基本理念にイベントテーマを「捨しゅ」としました。「くよくよする事を止めよう、病気に囚われたり、環境にくじけたり、家や宗教に心を奪われず、生命の偉大さに目覚めよう。生命の限り生き抜こう。地球の生命を民族の生命を文化を次の時代の走者に見事に引き継ごう。」という思いが

「利根川の流れと赤城山を背景に数々の風が空に舞い、敷島公園河川緑地の広場は風を揚げる人々で一杯でした。風作りのコーナーやトン汁のコーナーは長蛇の列で待つこと数十分。参加者の楽しそうな姿を見てこの大会を行って本当に良かったと思えました。

風の会のスタント風(スボーツカイト)の妙技、遊びとして行われている風揚げの部では、我々青年部大奮闘の手作りのドラム輸入り大風、群馬県観光課はぐんまちゃん。そして市制100周年のマスコット「ふーちゃん」の大風、白根の二十四景の大風など大空に舞い揚がったときは、主催者でありながら時間を忘れて見入ってしまうほどの感動でした。

「全国風揚げ大会」 前橋商工会議所青年部 関東ブロック



青年部主催の全国風揚げ大会が、3月7日(日曜日)に盛大に行われました。

古くから日本の伝統ある遊びとして行われている風揚げは、上州の風は最適な遊びです。この前橋で行われる事を聞いた、全国の風愛好家の方々が熱い期待を受けていました。

前日の前夜祭は、日本の風の会・風愛好家の方々約120名を迎え、前橋市長、青年部代表幹事、事務局が出席、雄龍太鼓守風の会のオーケストラが行われました。

ASEANとの交流も 徳島商工会議所青年部(四国ブロック)

関西国際空港の開港や、明石海峡大橋開通予定など、徳島にも新しい時代の流れがおしよせてきています。こうした中で青年部では総務、交流、第一線の諸政策への対応、第二市の諸政策への対応、第三(工業関係)、第四(商業、金融関係)、第五(労働、調査)の七委員会を組織し、事業活動を行っています。

一例として第五委員会は労働問題に取り組みしており、本年度は(1)労働組合との懇談会、(2)外国人労働者との対話、(3)外国人労働者対策(工業関係)、第四(商業、金融関係)、第五(労働、調査)の七委員会を組織し、事業活動を行っています。

一括しようと取り組んだのが「ASEAN労働代表との懇談会」でありました。ASEANとは、インドネシア、フィリピン、タイの5ヶ国10名とタイの会談とあり、和気あいあいのなかで懇談会は成功に終わり、最後に「阿波踊り」をみんなで踊り友好も深めました。

我々、徳島商工会議所青年部が何をなすべきか原点を見直し、切磋琢磨しながらパイオティティをもって



地域社会の発展に挑戦しています。

「発信！ 未来の米子に向けて」 米子商工会議所青年部(中国ブロック)



当青年部は「人が集う街米子」をテーマとして、街をいかに活性化するかを考え、その中で核となるコンベンションホールが是非必要というところで、建設事業として長い間、設立に向けて運動してまいりました。

そして昨年、ホールの建設も決まりました。また、コンベンションビルも米子市東部のほうで設立していたことが明らかになりました。街づくりの町をどのようになすかを

らよいかという理想を描き、理想と現実の間に生じるギャップを問題提起し、その問題を一つ一つ合意形成しながら、実現に向けて努力をしなければならなりません。我が長い間課題としてきた問題も、実現のメドが立った今、これから我々が21世紀へ向けにどんな理想を掲げどんな素晴らしい絵を描くかを考える大事な時を迎えています。そして、その絵が現実になるよう、会員一人一人が丸となって活動していきたいと考えています。

また、本年度は創立15周年を迎える年であり、10月に行う15周年記念事業により、より一層会員同志がつながりを深めていくことができればと考えています。

「全日本トライアスロン 宮古島大会」を支える 沖縄宮古商工会議所青年部(九州ブロック)



トライアスロンは、ラテン語の数字の3という意味と、スポーツを意味するアスロンとの合成語で、水泳・自転車・マラソンの3種目を一人ですべて行うのが特徴です。日本では、1981年(昭和56年)に行われた鳥取県の学生大会が初めてのトライアスロン大会で、1983年(昭和58年)4月に「第1回全日本トライアスロン宮古島大会」が開催され、NHKの全国放送で生中継された事を契機に、全国にトライアスロンブームが広がりました。

沖縄宮古商工会議所青年部では、第1回大会から今回の第10回大会まで、除の力の責務を担っており、食糧部の役割は、前夜祭(ライブパーティ)後夜祭(ふれあいパーティ)の料理提供及び準備・運営・後片付けと大会当日の21カ所のエイドステーション運手の飲食物やスポーツ等の受渡し場所の準備・配布及び大会役員ボランティア総務5000人の弁当の配付などです。除で大会成功のために頑張っている青年部であります。

これからも、地域経済発展の為、当青年部は地域の各種イベントへ積極的に参加していきたいと思っております。



岩間 絵美子さん

全国初の女性会長

Iwano Yokoの経歴

全国経営工芸会連合青年部の指揮におかれましては、誠に御礼申し上げます。今年度、京都府平安建都二二〇〇年を記念しているこのおめでたき年に、会長を務めさせていただきます。光栄の至りでございます。この重責を身に負ひさせていただきますと共に、今年度の一大事業である、今年度の「大募集」や、全国青年連盟の「第12回中央研修会」の主要な成功を遂げたいと思っております。特に「第12回中央研修会」は各

単会の会長のみならず役員にも力が及び、また女性会員の研修も重要です。日本全国の青年部より多くの役員候補に希望をおこし頂き、希望の多い心のある方々を募集し、中央研修会になり、更に中央研修会を主催して頂くことにより、心より感謝すると共に、全国青年連盟の発展に貢献して

今年度の青春の青年連のテーマは「新たな21世紀への勇気ある挑戦」と致しました。大きい理想とより早い情報収集、夢現に勝つべく強い人柄、そして情に助け合いながら心の大きな人間になるよう、また青年の体力と情熱と勇気をもって積極的に前進して行きたいという思いです。

私はいつと云えられた生命と日々の生活で、非常に精進のいくように生きていきたいと思っております。そして一番大切な愛あるあなたから、心が一歩の距離感となつて今日も明日も頑張りたいと思っております。

講演会場に熱気と感動

商青連YEGセミナー

平成6年度YEGセミナーを国際会議場「東京国際会議場ビル」にて7月27日に開催いたしました。小宮研修委員長による開会に始まり、代表理事三井会長の挨拶に続き日本商工会議所・西川第一賞状授与式にご挨拶をいただきました。本年度のYEGセミナーは、多くの講師の方々にご講演をお願いしました。

第一講演は朝日ソーラー株式会社 代表取締役・林武志氏に「不景況下の決めるべき経営」朝日ソーラーの戦略をテーマに資本金ゼロからのスタートにもかかわらず、創業わずか10年で太陽電池水素の全国シェア50%を達成する奇蹟的かつ強烈な成長とリーダーシップを持った経営者について、ご講演いただきました。

第二講演は株式会社「ワン」代表取締役・櫻井秀典氏に「女性を動かす企業は強くなる」をテーマに、いま女性の時代とされる要因とは何か、女性を企業で活かす戦略について、セミナーを両席に交えたが、ご講演いただきました。

第三講演は日本EJ研究開発部長・行徳晋男氏に「野性のエネルギーを取り戻せ」をテーマに「感動を他人に与えられる者が経営者としての資質である」と感性に響くご講演でした。

講演会終了後、夕陽を伴う懇話会を開催しながら、東京スカイリムにおいて講演会を締めくくりました。最後は全国各地よりご参加いただいた皆さまの青年部の皆様にご挨拶をいたしました。

(研修委員会・本田幸樹)

第12回 中央研修会を京都で開催！

女性会員だけの分科会も

平成7年2月22、23日

いよいよ中央研修会の開催もおおむめを過ぎ、この要領が掲載される頃には皆様も御自身の案内をなさして頂いている予定です。一人でも多くの方にお申し込み頂いて皆様にご満足して頂けるよう、商青連研修委員会の方々と共に準備を進めております。

研修会長の基調講演をはじめ、地域連携と青年部活動の講演、パネルディスカッションではYEG活動の課題を話し、今後に向けての課題を決定しております。

分科会では本年度最高研修会、会費特別研修、事務局研修そして女性会員研修の四つに分れ、それぞれの専門分野の研修を行います。特に、今年度の中央研修会では、今後増加が予想される女性会員をスムーズに受け入れ、現在の女性会員のリーディングシップを養成する目的で女性会員研修を行いますので、幅広く女性会員にお申し込み下さい。

また、懇親会の後に視察視察の方々とともに懇親会を深めて頂けるよう、ある

いは同業種のネットワーキングづくりの場となつてもらえたら、YEGの活動が更に盛り上がると思います。こちらの方にもお気配にお立ち寄り下さい。京都府西工芸連青年部連合会に協力を得まして、特産物産展も開催します。

又、エクスカーションと

して早朝研修会を行いますので、心身を取り戻さされるために各単会の次年度会長には御出席願います。日時はお決まっております。分科会が100%の出席で中央研修会に御出席いただくために、本青年部と

して夜更も一杯がんばりますので宜しくお願いいたします。

「商青連第12回中央研修会」スケジュール

時 間	研 修 内 容
11:30~12:30	中央研修会直接受付
12:30~12:40	オープニング
12:40~13:05	オリエンテーション
13:05~13:30	全体研修
	説明
	基調講演
	地域連携と青年部活動
	休憩
	パネルディスカッション
	移動(パークホテル内各室)
15:30~17:00	分科会
17:00~18:30	次年度会長研修
	会長化育研修
	事務局研修
	女性会員研修
18:30~18:45	移動
18:45~19:45	懇親会
19:45~	二次会
6:00~6:30	エクスカーション(保善会館移動)
6:30~6:00	霊神会(天龍寺)
6:00~6:30	移動
6:30~6:30	朝食(7:30~)
6:30~6:00	オリエンテーション
10:00~11:00	記念講演
11:00~12:00	第12回通常立憲総会
	各自昼食
	各エクスカーション
13:00~	

第一講演は朝日ソーラー株式会社 代表取締役・林武志氏に「不景況下の決めるべき経営」朝日ソーラーの戦略をテーマに資本金ゼロからのスタートにもかかわらず、創業わずか10年で太陽電池水素の全国シェア50%を達成する奇蹟的かつ強烈な成長とリーダーシップを持った経営者について、ご講演いただきました。

第二講演は株式会社「ワン」代表取締役・櫻井秀典氏に「女性を動かす企業は強くなる」をテーマに、いま女性の時代とされる要因とは何か、女性を企業で活かす戦略について、セミナーを両席に交えたが、ご講演いただきました。

第三講演は日本EJ研究開発部長・行徳晋男氏に「野性のエネルギーを取り戻せ」をテーマに「感動を他人に与えられる者が経営者としての資質である」と感性に響くご講演でした。

講演会終了後、夕陽を伴う懇話会を開催しながら、東京スカイリムにおいて講演会を締めくくりました。最後は全国各地よりご参加いただいた皆さまの青年部の皆様にご挨拶をいたしました。

(研修委員会・本田幸樹)



翔生 Communication PLAZA

「国土軸・地域連携事業キャラバン」 連携図り4ルートを策定

秋にも東北六県若工会議所青年連合会では、「国土軸・地域連携連携事業」を展開し、これまでの「対・市街」の視点を転換、地方都市間の経済、文化交流ネットワークづくりを促す狙いで、太平洋側と日本海側の国土軸を結ぶ四つのルートを設定しました。

①北東側ルートは、②北東側側面ルート、③北東側側面ルート、④北東側側面ルート

①北東側ルートは、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長門県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

商青連の組織を改革

ブロック代表理事を新設

商青連では、平成7年4月より組織改革を行っています。商青連の組織が大きく変わり、新しい時代に対応するため、役員会の機能をさらに強化しました。

主な内容は次の通りです。

役員については従来通りですが、副会長は従来10名から4名と減らしました。副会長はブロック内(3ブロック)で選出していたのを、役員会の中から選出します。東部(北陸信越、東海、近畿)、中部(中国、四国、九州)、西部(中国、四国、九州)からそれぞれ1名、それに次年度会長予定者です。

副会長は、これまでブロックを担当し、さらに役員会の委員長を兼任していましたが、既に業務の重畳も増大に達していました。

この4名の副会長は委員の補充に専念します。新たに設置されたのが、「ブロック代表理事」です。全国のブロックで選出し、副会長と委員長を兼任します。

ブロック代表理事の役割は、定期的に①ブロック別青年連合会、②ブロック別青年連合会、③ブロック別青年連合会、④ブロック別青年連合会を主催し、地域の意見を収集し、青年連合会に反映させることです。

ブロック内の情報交換や連携を強化し、経済活動の一助の活性化を目標とされています。

また、従来通り委員会には委員長をおき、重要事項を審議してまいります。

(事務局理事・増田英十)



東北の真YEG

本報特設4ルート
①北東側ルート
②北東側側面ルート
③北東側側面ルート
④北東側側面ルート

本報特設4ルートは、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長門県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

本報特設4ルート

①北東側ルート
AKITA MIYAGI

②北東側側面ルート
MIYAGI

③北東側側面ルート
TAMAKATA

④北東側側面ルート
NOGATA FUKUSHIMA



YEGグッズについて教えてください。

A Q YEGグッズには、どんな物があつきますか?

A Q 日頃の調査報告書による、ジャンパー、Tシャツ等の衣服が多く、変わったところでは、オルゴールや人形もあるようです。協賛会社が製作しています。

A Q YEGグッズを作る際の、届出は必要ですか?

A Q 基本的には、単発の所属する商工会議所の承認があればいいと考えます。但し、パワがについては、正式な申請書(パワ)がありますから、公式な場では認められていません。他の団体の力が更だ同時に届出るといふ心配があります。

A Q YEGグッズの製作目的で、参加になるのがありますか?

A Q 平成8年度に四国ブロックが、商青連10周年記念品として、余のネタタイプ(一冊十円で販売し、六百冊売って20万円程度の収益を得た例は無い)を販売して、良い例だと思えます。また、単発の要請書(一冊、インバー)が家におくと、良い事だと思えます。

A Q 協賛会社のYEGグッズを製作してあげたいのですが?

A Q 全部の写具はありますが、九州の中小企業協会の協賛企業リストがありますので、参考にしてください。

総務委員長 竹内 達

しょうせいれん

なつとわーく

商青連は、設立以来、組織の強化と活動の活性化をめざしてきました。その商青連も、変革の時を迎えています。山積された課題に全国各地から出向しているメンバーが懸命に取り組みんでいます。各委員会の奮闘ぶりをお伝えします。

広報委員会

情報ネットワークの構築を

全国4000単会、会員数3万人の組織になろうとしている商青連。各地で地域の中核になろうという青年経営者たちのネットワークをどのように構築してあげばよいか。広報委員会に寄せられる期待と課題は非常に大きいものがあります。常に大きな目標を掲げ、常に実行する「理念」、全国の青年経営者の動きを伝える「情報パッケージ」、それに単会で行う各種のコンタ



しかし今後は、経済や行政関係機関、他の青年団体など対外的にもネット構築を促していかなくてはなりません。さらに全国のYEGが相互にビジネスの情報を

研修委員会

交流と連携がキーワード



本年度の研修委員会のテーマは「交流と研修」。商青連加入のメリットは、会員にとっては、個人間の交流。多くの同業種を交流により貴重な情報入手し、広い視野でのビジネス交流を

もう一つは単会相互の交流。地域は、制約を受けながらも、機軸を分担して共に発展していく時代。この時代は「わが村」を越えれば、地域が連携していくための

特別委員会

加入のメリットを提案

商青連の特別委員会はその時代の変化に応じて重要な役割を担っている。その一環として、商青連として加入のメリットを提案する必要がある。私たちが目指しているのは、単会が単なる情報交換の場として機能するのではなく、

この時代の青年団体との大きな違いである。青年部として明確な経済活性化の事業を実施するにあたり、特許や知財の権利を確保し、

総務委員会

県連の活動調査を実施



商青連の活動に歴史的变化が顕著に現れている。そのYEGにも顕著な変化が現れている。この変化が実現するにあたり、

明確化し、あるべき姿を構築する。これは、当初YEGが設定されましたが、

組織強化委員会

組織強化は永遠のテーマ

商工会議所活動の一環として、各地青年部。従って、商青連として組織の強化を推進し、組織が存続する限り、非常に重要な課題である。本年度のテーマと見ると、1年間の委員活動では多くの課題がある中で、ひとつの行動パターンを構築し、



私の担当の西田、九州地区の方には従来の組織強化の電話や、お断りしたい。電話は、実行に移す。これは、実行に移す。これは、実行に移す。



北は組織強化、南は組織強化、YEGの体制強化。YEGの体制強化。YEGの体制強化。

EDITOR